

## 鹿児島偕行会総会

平成29年度鹿児島偕行会総会が8月27日、ホテルタイセイに会員18名の参加を得て開催された。旧軍参加者が少なく、寂しい総会となった。

麓川会長代行の開会の辞の後、財津会員（陸士61期）のアカデーション伴奏で国歌斉唱に続き、物故者会員及び北部九州豪雨他の災害で被災、亡くなられた

方々へ黙祷を捧げた。

第1部の総会は、会長代行の挨拶後、県戦没者墓地顕揚会長の田島理事（陸自65）を議長に選出、同氏の進行により

1号議案 平成28年度会務報告

2号議案 平成28年度収支決算報告・監査報告

3号議案 役員改正（案）

4号議案 平成29年度事業計画（案）・予算（案）

と審議され、事務局提案のとおり、満場一致で承認可決された。

3号議案の役員改選は、任期満了に伴う交代であったが、本会の長い歴史で初めて自衛官出身の会長が誕生した。

第2部の講演会は、元鹿児島県議副議長で郷土史家でもある増留貴朗氏が「第45連隊の南京作戦」の講演、国を思う情熱と研究に裏打ちされた貴重な講話に、会員一同深い感銘を受けた。

本講演は、懇親会招待者の縣護国神社の宮司、県水交会会長、自衛隊遺族会会長、県郷友会会長、県防大同窓会会長、県地方協力副本部長に加え、第12普通科連隊から副連隊長以下11名の方に参加・拝聴して頂いた。会員の減少で、参加人員が少ない中、連隊の参加が有難く、席の半分が招待者ということで充実し、講師も熱が入った。そのため予定の30分が1時間以上となった。

第3部の懇親会は、気持ちを新たに別

室に移って盛大に行われた。

司会の肥後監事（陸自79）の開会の辞に引き続き、会長が「楽しんで下さい！」と挨拶、宇都参議院議員の祝辞披露（秘



陸軍士官学校校歌斉唱（旧軍会員）



幹部候補生学校校歌熟唱（連隊長以下現職自衛官）

書）に引き続き、来賓の紹介と挨拶を頂いた。

その後、来年、創建150年祈念事業を迎える縣護国神社への奉賛金を野村宮司にお渡し、ご挨拶を頂いた。

更に、初参加会員の紹介・挨拶の後、谷口会員（陸自76）の詩吟朗詠と最長老の陸士58期西理事の乾杯の音頭で祝宴に入った。

暫し歓談の後、演芸タイムに入り、財津会員のアコーディオン演奏（青い山脈）と伴奏で恒例の軍・隊歌演習が始まり、旧軍会員の陸軍士官学校校歌、自衛隊OBの日本国自衛隊歌、現職自衛官の幹部候補生校歌、根本連隊長の独唱等で盛り上がった。

最後の万歳三唱は、県防大同窓会会長石崎様が力強い声で音頭を取り、司会の「来年の再会をお待ちします。」で閉会した。

今回の参加招待者は次の方々でした。

宇都隆史参議院議員代理（秘書 徳田佳史様、地方協力副本部長重信弘様、第12普通科連隊長根本正之様以下12名の幹部の方々、国分駐屯地業務隊長川久保壽人様、縣護国神社宮司野村浩史様、県隊友会会長村山史彦様（会員）、県水交会会長立元四郎様、県遺族会連合会長牛牧光男様、県郷友会会長市米徹夫様（会員）、県戦没者墓地顕揚会会長田島勝征様（会員）、県防大同窓会会長石崎耕太郎様。